

喜納翼さん、母校に凱旋、講演会で後輩にエール！

去る12月3日(金)、東京パラリンピック2020に出場し、7位入賞を果たした本校卒業生の喜納翼さんを講師としてお招きし、講演会を開催いたしました。

母校具志川東中学校の後輩のため、忙しい中講演を聴く機会をつくって頂いた喜納選手に心から感謝申し上げます。

講演の中では小学校4年生の時にバスケットと出会い、中学校、高等学校、大学とバスケットに打ち込んできたこと、中学校では体調が万全ではない中、懸命に練習に取り組んできたことなどを話してくれました。

大学に入り、後悔の無い選手生活を送りたいという強い思いの中で、自主練習中にケガをし胸椎脱臼骨折によって身体に麻痺が残り、車いすでの生活を余儀なくされたことを伝えていました。

リハビリをする中において、様々な人からの応援を受け、感謝する心の大切さを改めて感じ、自分にできることを見つめながら生きていくことの大切さをメッセージとして後輩の皆さんに話されていました。

1年を超えるリハビリを終え、車いす陸上と出会い、競技生活をスタートすることになった喜納選手、ここでも多くの人からの支えを受け、様々な大会に出場し好成績を収めることができたことを紹介してくれました。

講演を通してとても印象的だったことは、「見たことがある、聞いたことがあることが、自分の世界を広げることにつながる。」ので、いろんなことに興味をもつことの大切さや「小さなことでいいので目標をもち、自分の今と目標の距離感を感じながら努力していく」ことの大切さを話されていたことでした。

そして、最後に「自分ができる、やれることをしっかり行う。」「感謝気持ちを忘れない。」「いろんなことに興味を持つ。」ことをメッセージとして伝えてくれました。

喜納選手の講演の中では、これからの皆さんの生き方についてヒントがたくさん示されていたと思います。是非参考にして欲しいと思います。



講演に先立ち、喜納翼選手には、東京パラリンピックでの活躍を含め本校に勇気と希望を与える数多くの活動に対し、「名誉同窓生」としての表彰が行われました。